

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームあもり

作成日 平成30年 4月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	強い声掛け、スピーチロックが見られる。	利用者様の行動が抑制されないような、優しい声掛けができるようになる。	昨年12月、スピーチロックについて、資料と日常的な声掛けの例を挙げながら勉強会を開催。個別の職員の面談等でも確認を行っている。	平成30年内 (1年)
2	14	排泄時のプライバシーに対する配慮が十分でない。	周囲の状況に応じた適切な声掛けができ、また、扉の開け閉めを適切に行う事ができる。	トイレ入口付近にトイレを閉めるよう呼びかける貼り紙を設置。声掛けについては上記と合わせて注意喚起を行っている。	平成30年6月 (半年)
3	3	運営推進会議へのご家族の参加が少ない。	ご家族様の参加を呼びかけ、年6回の運営推進会議にご家族様が参加される。	ご家族様へ文書等で案内を送付し、参加を呼び掛けていく。	平成30年内 (1年)
4	12	看取りに向けた指針について曖昧な文言がある。	文書の改訂を行う。また、事前意思を確認し、スムーズな看取りが行えるようにする。	制度改定に併せて、該当する文書の改訂も行う。事前意思の確認を徐々に行っていく。	平成30年6月 (半年)
5	1	事業所の理念が現状に合っているか、管理者や職員がしっかりと意識しているか。	職員が日常的に目にするような場所や、ミーティング資料などに理念を記載する等し理念の浸透を図る。	12月のミーティングにて話し合いを行うが、見直しの必要性までは至っていない。まずは現状の理念の周知を、左記のような方法で図っていきつつ、現状のケアに合わせた理念の検討を行っていききたい。	平成30年内 (1年)

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。